



夢を描き語る 祭典にしよう

2月大教会教会長会議
立教183年2月22日
大教会長 片山幹太



発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R.200224-0226-12
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)
Email: news@honjima.com
発行部数: 891部 (先月比±0)
大教会 朝夕おつとめ時間
【2月16日～3月31日】
朝づとめ 午前6時45分
夕づとめ 午後6時30分

1月27日よりインドネシアのバリ島にある布教所へ行つてまいりました。

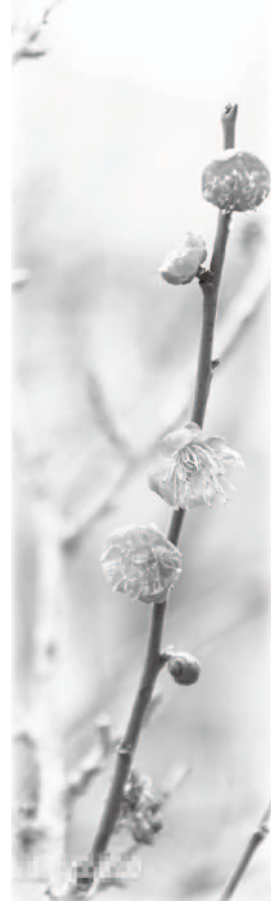
インドネシアの道路は、バイクが自
動車の3倍くらい多く走っています。
バイクはインドネシアにおいて生活に
欠かせない交通手段として、2人乗り
は当たり前で、家族で4人乗りするよ
うなケースもめずらしくありません。

道路は交通量がとても多いのに、信
号機が少ないのです。そこで交差点に
進入するときや、車線変更するときは、
みんなよく目配り、気配りをします。

日本と同じ左側通行ですが、進路を
変えるときはスロウダウンするし、相
手もそれに合わせて道を譲ってくれた
りします。例えばA地点からB地点に
移動するとき、周囲への気配りの量は
日本よりインドネシアの方がたくさん
必要です。

それに比べ、日本は信号機が多く、
交通規則もきちんと守られています。
むしろ守られすぎて、ルールに頼り過

大教会の紅梅(2/22撮影)



ぎているのではないか。そのために、
他者への目配りや気配りが疎かになる
ことがあるのではないかと思います。

人を喜ばすのも、人に助かってもら
うことも、私たちはいつの間にか目配
り、心配りを疎かにして、物やルー
ルに頼り過ぎていのではないでしょ
うか。真心が第一で、物はそれを補佐す
る道具であるはずす。

私たちは自由に使わせて頂ける心を
もつと良く使わせて頂きたいと思いま
した。

話は変わりますが、1月25日の教
会長夫妻研修会において、私は「教会
で夢を語りましょう」とお話ししました。
特に26日は、私たちの夢を思い描く陽
気な祭典日とさせて頂く、というお
話をしたと思います。

不安が先立つこのご時世にあって、
ようばくである我々は、親神様を絶対
的な神様と信じ切ることができません。

もっと安心して夢を語っていくことが
大事ではないかと思えます。

本島にはコンビニエンスストアも信
号機もないと言うと、皆さんとても驚
かれます。信じてくれない人も結構い
ます。

「でもいずれ、参拝者の船を大阪港
まで迎えに出すようにしたいです」と
言う、皆さん思わず笑いがでて楽し
くなつてきます。

夢を描く。楽しい目標を立てる。成
る、成らんは分かりませんが、26日は
おちばでご存命の教祖のお側で、夢を
皆で語れるような、教会のことや自分
や家族のこと、地域のことなど、楽し
い目標を語り合えるようになったら
いいと思つています。

来月は大教会で縦の伝道講習会を開
催します。どうぞ大勢の方、お帰り下
さるようお願いいたします。

(文責・本島通信編集室)

陽気ぐらしの実践は 言葉や行いを変えることから

大教会役員
にしやまみちのり
西山道教

只今は2月の月次祭を大教会長様を
芯に勇んで勤め終えさせて頂きました。
誠に同慶の至りに存じます。

「ご命を頂きましたのでしばらくの間
お付き合い下さいますようお願い致し
ます。」

今年の1月4日夕づとめ後、御本部
の「年頭あいさつ」で、真柱様は次の通
りお言葉を述べられました。



「私たちの基本、道を通り後に続く人
をしっかりと育てていくうえにおいて、
歩み方の中で基本となるところを、だ
いぶ忘れてしまっているのではないか。
だんだんと流されてしまって、『まだ
大丈夫やろ』と思っているうちに、気
がついたら今のようになってしまった
というような気もする」「前真柱様は
よく、この場で、『去年よりも少しで
も成人させてもらいたい』というよう
なことを、まずはお話くださっていた
ように思う。それは大切なことなので、
惰性だせいというか、流れにまかせてしまわ
ないように、つとめていただきたい」

このお言葉から、私自身、後に続く
人もしっかり育てているだろうかと思
案すると、ついつい惰性に流されて
日々を通っていることに改めて反省す

るのです。去年よりも少しでも成人さ
せて頂かねばならないと思うのです。

そこで信仰の基本を思索する上で、
僭越せんえつですが私の母の信仰を振り返って
みたいと思います。

母西山貞子は現在98歳で元気に自教
会の本室分教会で生活しております。
母は昭和19年、22歳の時に、見合いも
せず、他系統の一般信者の家庭から今
の教会に嫁いで来ました。

長男の私と次男を年子としごで授かりまし
たが、次男が生後21日目に直すとい
う節から、昭和23年夏、長男の私を連
れて修養科に入りました。その時、初
めて三代会長片山俊次先生にお会いし
ました。

俊次会長様は「これからはお道のた
め、しっかりとめさせて頂きなさい
よ、あなたはお道のことは何にも分か
らん、心も出来ん、布教経験もないか
ら、おたすけ活動は出来ないと思っ
ているやろが、つとめさせて頂いてい
るうちにだんだん心も出来てくるの
や」とお声をかけて下さいました。

そして修養科でお聞かせ頂くお話し
が心に沁み込んで感激した母は「教会
に帰りましたら一生懸命おたすけに歩
きます」と教会へ手紙を出しました。

修養科を終え、北海道の室蘭に帰る

のですが、当時の列車は大混雑で、私
を膝の上に抱えながら3日かかりだっ
たそうです。

教会に戻り旅の疲れと日々の家事に
追われて、あつという間に1週間が過
ぎました。

その時、本室の西山リン初代会長か
ら「お前は修養科中に、帰ったらおた
すけに歩くと手紙を出してくれていた
が、今日で1週間も経つけれど、まだ
出ないではないか」と大変きつくお叱
りを頂いたのです。

本室の初代会長は夫吉太郎と共に京
城支教会に住み込み、そこからロシア
のウラジオストクに布教に出て厳し
い道中を通り切られた人であります。

ロシア革命の勃発で世情不安となり
一旦本島に戻りますが、改めて片山好
造会長様のご命のままに北海道に渡り
布教に専念して、本室分教会を設立し
ました。しかし教会設立直前に夫吉太
郎は出直し、リンが初代会長としてお
許し戴いたのでした。リンは明治11年
生まれで、この時70歳でかくしゃくと
していました。母はこのリン会長に厳
しく仕込まれたのでした。

母は初代会長の厳しい言葉に押し出
されて、おたすけ先を探し出し、初め
ておたすけにかからせて頂いたのが魚

屋さんの奥さんでした。菌の骨膜炎を病んでいる方で、手拭いをあごから頭の方へ縛り上げて仕事をしていたそうです。戦後薬もろくにない時代でもありました。三日三夜心定めておさづけを取り次いだのです。すると3日間ですつきり御守護を頂いたのですが、その奥さんから「天理教はもう結構です」とお断りされました。

ところが母はこのとき、とても嬉しく思ったそうです。それは、その奥さんのおたすけを通しておさづけの理の素晴らしさ、神様のお働きに感激したからです。その後、母は熱心に、にをい、おたすけに歩きました。

ある時、脊椎カリエスと子宮筋腫に病むご婦人に、にをい、がかかりました。脊椎カリエスは背中に鶉の卵大の穴が3ヶ所開いて、そこから膿が出る状態でした。子宮筋腫は赤ちゃんの頭ぐらいの筋腫が2つありました。近くの病院から往診にきますが、医者からは助からないと宣告されていた人でした。寝るにしても、仰向けにも横にもなれず、大きな枕にもたれて昼も夜も休むという状態です。痛みだしたらその場でクルクル回って我慢するのです。そして、おさづけを取り次いだら不思議に楽になるのですから、とにかくお

さづけを一日に何回も取り次ぎました。この人をたすけるため、母は教会から片道12キロの道を歩いて通ったのです。しかしながら、次第に病状が悪化して夜中に苦しくなったり、痛んだりするので、母は泊まり込みでおたすけにかかりました。おさづけを一晚に4、5回も取り次ぐのです。

ある時、お医者さまが母を身内の人と思つて玄関の外に呼んで「あと1週間の命です」と言われました。そこで母は夜中に背中を擦りながら「思い切る理が因縁切る理」の話をしました。あるだけの理立とタンスの中の着物を御供えし、自分もそれに足して御供えしたので。すると筋腫の方は不思議な御守護を頂かれました。

昭和33年、修養科を志願しました。おぢばに向かう列車の中で幾度もおさづけを取り次ぎ介抱しながらおぢばに帰り、修養科も無事に3ヶ月をつとめ終えました。その後も色々な病気に罹りましたが、脊椎カリエスを始めとする身上は鮮やかに御守護を頂いたのです。そして神様をお祀りし、講社祭の日には近所の方が大勢参拝に見えました。

母は親神様の御守護を信じ、おさづけを取り次ぎ、おたすけに励みました。

そのおたすけの原動力は何かと思いません。因縁の自覚であつたと思います。昔の布教師は皆、因縁の自覚が出来ていたと思うのです。因縁の自覚がにをい、おたすけの原動力になつていると思います。

教祖90年祭の前年に、2代会長である夫西山耕一の出直しという節に出遭いました。無我夢中で通り抜け、母は3代会長に就任し、子育てしながら苦勞の道中を通りました。

神饌物がない日が多く、「お神酒」「お米」「野菜」などと半紙に書いて日供のお供えをした日もありました。これならいくらでもお供えできそうですが、大きなことを書いてお供えしても不渡り手形になるので、それは出来ません。そんな苦勞の中でも毎月大教会に帰らせて頂く心定めを実行し、また、信者様の真実のお供え金は1円残らず運びました。まさに尽くし運びに徹して通りました。

私は昭和53年に修養科を修了し、昭和54年に教会に戻りましたが、毎日がにをい、おたすけの日々で、母は朝9時には必ず車に乗り込み、にをい、おたすけに出るため、私が運転に出てくるのを待つてゐるのです。これが日課でした。そして教会に帰つてからは12下りを

つとめることが晩年まで続きました。信仰の基本である、つとめとさづけ、にをい、おたすけに徹していたと思います。それを思う時、私自身いつの間にか世間に流されてしまつていくことに気づかされ、忸怩たる思いがするのです。

さて、いよいよ2年後の5月21日、本島大教会創立120周年記念祭がつとめられます。先月22日大教会春季大祭の神殿講話において大教会長様は、「大教会創立120周年記念祭も、楽しみに帰らずにはいられない記念祭を目指したいのです。そのためには、帰参者全員が出演者となり、我がこととして楽しめるように努めさせて頂きましょう。」と、記念祭に向かう心の置きどころをお示し頂きました。

記念祭に向かつて心の成人をはかり、互い立て合い助け合ひ、陽気ぐらしの実践ができるよう勤めさせて頂きましょう。

一昨年の10月28日、創立百周年記念青年会総会において、中山大亮青年会長様より御告辞を頂きました。私も信者さんと中庭で拝聴しました。その中で、陽気ぐらしの実践について、お聞かせ下さいました。

大亮様は大学卒業式後に中山家へ養子に入られました。初めはこの立場になかなかなじみずじまいということ。養子に入った日から、急に敬語で話されるようになり、名前は「様」付けで呼ばれ、周りの方は全員年上であり、いつでもどこでも気を使っていた。だき、こちらも気を使う。たった1ヶ月前まで、アパートで独り暮らしをしていたのが夢だったのかと思うくらい生活は一変し、その現実を受け入れる事が難しく、喜べない日が続いたと話されました。

そんな中、自分はいま陽気ぐらしができていいのか、人に喜んでももらえるような行いができているのかと振り返ったとき、全然できていなかった。それに気づいてからは、日々の陽気ぐらしの実践を意識し、自分の言葉や行いを人に喜んでもらえるものに変えていった。例えば、ご飯を食べた後に、食器を持って台所に行き、「ごちそうさまでした」と言っていたが、「おいしかったです」と付け加えることにした。初めは恥ずかしながらも毎日言うようになった。他にも、さまざまなお話をしてきたが、どれも決して大きなことをしたわけではなく、言葉や行いを少し変えたり、付け加えたりして、誰

でもできるような事を心掛けて実践していった結果、私の心はだんだんと変わっていった。人に喜んで貰いたいという思いで動けば動くほど喜びが返ってくる。やればやるほど、毎日が楽しくなってきた。

このお話しを聞かせて頂き、果たして自分は今、陽気ぐらしが出来ているのかと思案しました。愚痴や不足はウイリスのように周りに感染します。一人の不足が感染源となり、周りの人々に拡散して、やがて陽気ぐらし世界とはほど遠い世の中になりかねません。人には良い面と悪い面、様々があると思います。私は自分の子供に対して、悪い面のみを引き出してきて、お前はこういう人間なんだと決めつけ、良い面を余り引き出さずとしかかったことを反省しました。これでは陽気ぐらしの道と反対です。

私は会長に就任してから日記をつけております。それ以前にも日記はつけていたことはありますが、三日坊主で続きません。平成6年の会長就任以来、教務の備忘録として26年間書き続けております。

最近その日記の最後の一行に、良かったこと、嬉しかった、楽しかった、

美味しかった、感激したと、ほんの一言つけ加えるようにしています。今日おさづけ出来て良かった。雨が降って良かった。晴れて良かった。暫くぶりであの人に会えた、元氣そうで良かった。女房が美味しいおかずを作ってくれてよかったです。ひのきしんが楽しく出来て良かった。良かった日記をつけ始めて気付いた事は、日常の何でもない事柄の中にも沢山喜べる事があるのだという事に気付きました。その一日を喜びで締めくくることが出来ます。これからは人に喜んでもらえるよう、陽気ぐらしの実践に励み、2年後は母はちようど100歳、共々元氣で、楽しみな大教会120周年記念祭を迎えたいと思っております。

ご清聴ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)

おしらせ
養徳社「陽気3月号」に、「物を大切に」をテーマに片山幹太大教会長様のエッセイが掲載されています。



訃報

本九台分教会副会長

原口峰子姉



原口峰子姉(本九台分教会3代会長)は去る2月10日お出直しになりました。享年94歳。

葬儀はみたまうつしが2月12日午後6時より、告別式が翌13日午前11時より、福岡市内の葬祭場において、吉田晴雄准役員斎主のもと執り行われました。

原口峰子姉略歴 大正15年1月29日生まれ。昭和32年12月15日、おさづけの理拝戴。同年12月27日、修養科第198期修了。昭和51年7月19日、教会長資格検定合格。同年8月15日、教人登録。立教155年4月26日、本九台分教会3代会長拝命。立教177年1月26日、同教会長辞職。教会長在職期間21年9ヶ月間。

二月月次祭 祭典役割

献饗長 牧野道昭
伝供 岩橋竜造・篠原丕王・吉田晴雄・岡崎八十則・向所隆文・永島崇行・大上道徳・原口実・伊東康成・吉田知彦・高島栄造・茶屋原良昭・位下道治・渡部友見・鎌田典夫・西森正昭・山下英久・須崎晴道・今野孝・村田典(順不同)

輝夫・星久・滑川善久・川村吉夫・井上力・阿部盛夫・宮路和徳・溝口晋太郎・倉嶋孝明
雅楽奉仕者 文岡育則・高垣光治・雲庵春彦・長尾海和・岩橋守行・香川高範・鎌田康典(順不同)

神殿講話	祭主	大教会長	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
	指図方	西山道教	扨者	井上哲	賛者
			老木邦光	後藤正治	
ちやんぼん	片山肇	片山勲	平井真治郎	永島宗行	
拍子木	西山道教	牧野道昭	永山晴明	宮路和徳	
太鼓	老木邦光	寺本教生	原口実	阿部盛夫	
すりがね	井上哲	大教会長	岩橋竜造	岡崎八十則	
小鼓	雲庵道延	岡崎俊郎	篠原丕王	高垣光治	
三味線	吉田晴雄	岩橋慶三	伊東康成	長門淳一	
胡弓	長尾澄子	会長夫人	向所暉美子	和田敏恵	
	片山孝代	片山やすゑ	雲庵まち子	伊東晴美	
	老木加代子	池田さわみ	片山孝子	梅木澄代	
			向所隆文	長尾海和	
			窪田靖明	井上力	
			後藤正治	山下英久	
			雲庵春彦	岩橋守行	
			吉田知彦	今野孝	
			大上道徳	高島栄造	
			岩橋元実	菅岡和美	
			宮本幸子	谷口十糸子	
			岡崎むつゑ	高垣洋子	

二月月次祭祭文

立教百八十三年二月二十二日

この神床にお鎮り下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。

親神様には、限りなく深い親心と尽きせぬ御守護のまにまに、成人の道へ恙なくお連れ通り下さいます御慈愛の程は、誠に有難く勿体ない限りでございます。

私共は、このご高恩を忘れることなく、常に御教えの基本に立って、思召し下さる世界たすけの御用にお使い頂けるよう、日々勇んで努めさせて頂いておりますが、その中にも今日の吉き日は、当大教会の二月の月次祭を執り行う芽出度い日柄を迎えましたので、只今より、役目に与るおつとめ奉仕者一同、心一つ揃え、座りづとめ、てをどりを陽気に勇んで勤めさせて頂きます。

御前には、厳しい寒さといわず、今日を樂しみに帰り集いました教え子達と相共に、ちばに心を一つに結び、おうたを唱和して、日頃賜る厚き御恵みにお礼申し上げ、尚も尽きせぬ御守護にお継りする真実の状をも御覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

尚、おらばでは来る三月三日より九日まで「学生徒修養会大学の部」が、更に十日から十二日まで、「学生徒修養会高校卒業生コース」が開催されるに際し、一人でも多くの学生が、おらばの理を戴いて御教えを学び、教祖の手足として、広く世界にお使い頂けるよう、丹精に

努めさせて頂きたいと存じます。

また、三月二十二日、大教会月次祭祭典に続いて「縦の伝道講習会」を開催させて頂き、改めて私共育成会員としての自覚を高め、「道の將來を担う人材の育成」の活動を積極的に進めさせて頂く所存でございます。

私共をはじめ、よふばく・信者一同は、それぞれの信仰の元一日を常に忘れることなく、今の時々の御用を、澄みきった心で一手一つに勇んで努めさせて頂く決心でございます。

何卒、届かぬ点、至らぬところは幾重にもお仕込み下さいます、一人でも多くの人々が、陽気に日々を送ることの出来ませう、お導きお育ての程を一同と共に慎んでお願い申し上げます。

(原文のまま)

入社祭

立教183年2月の入社祭はありませんでした。

2月22日(日)
【香川県丸亀市】

天候 雨時々晴一時曇
 最低気温 5.7℃
 最高気温 15.2℃
 平均気圧 1022.0 hPa
 平均湿度 72%
 平均風速 3.6 m/s
 日照時間 2.9 時間
 降水量 3.3 mm
 ※ 降水量は一日の総雨量

天理教婦人会 創立110周年記念 第102回総会

式典

4月19日(日) 午前10時

本部中庭
南・東礼拝場前 西境内地

記念行事

■ パワー結集! よろこびのパレード

4月18日(土) タづとめ後

真東棟前→旧別席場前→東筋→南礼拝場前

■ 記念講演会「陽気ぐらしへ向かう道」

4月19日(日) 午後1時

- ・第二食堂 ・第三食堂(第四食堂 音声のみ)
- ・東講堂(旧別席場 音声のみ)
- ・東右第一棟講堂
- ・乾隅棟(天理教学校園高等学校) 講堂
- ・西左第五棟(敷島詰所) 講堂
- ・天理大学袖之内第一体育館(同時通訳あり)



立教183年(2020) 4月19日(日)

■ 式典
午前10時
本部中庭
南・東礼拝場前 西境内地

■ 記念行事
パレード「パワー結集! よろこびのパレード」
と き: 立教183年(2020年)4月18日(土) タづとめ後

記念講演会「陽気ぐらしへ向かう道」
と き: 立教183年(2020年)4月19日(日) 午後1時

■ 別席換調期間
▶ 立教182年(2019年) 10月20日~11月30日
▶ 立教183年(2020年) 3月20日~ 5月10日
10月20日~11月30日

天理教婦人会 創立110周年記念 第102回総会

天理教婦人会 創立110周年記念 第102回総会 案内マップ

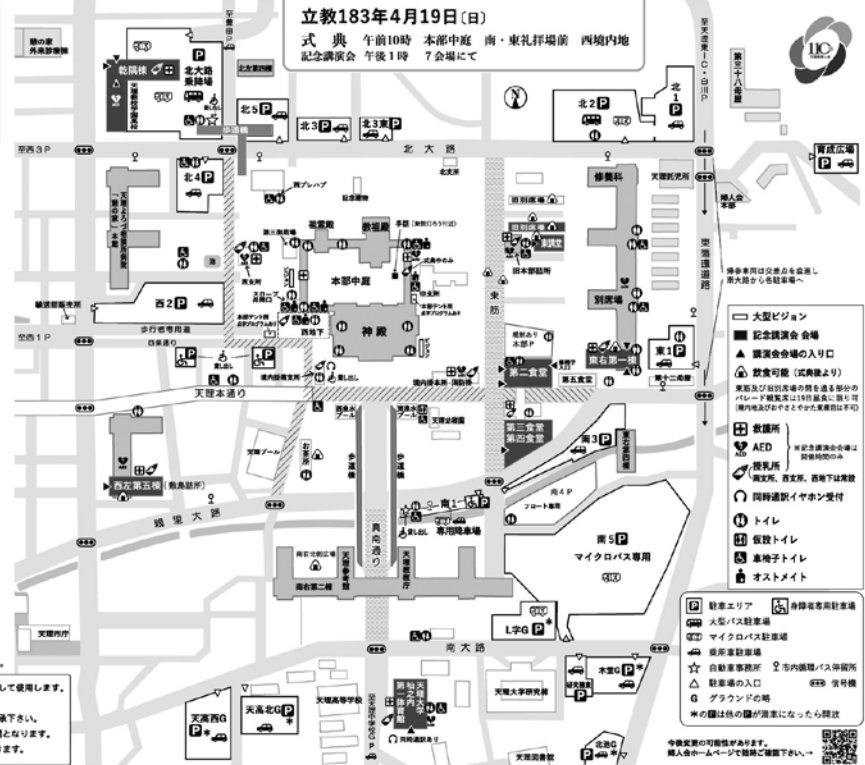
立教183年2月15日現在

【交通規制】
東西通行禁止区域 (府公安委員会・天理警察署)
① 17日 8:00~20:00
② 18日 8:00~21:30
③ 19日 8:00~16:00
(天理教輸送部)
④ 17日 14:00~21:30
⑤ 18日 5:15~22:00
⑥ 19日 5:15~15:00
※バスはステッカー(特別通行許可証)取付車に限り通行
通行禁止
⑦ 18日 8:00~19:45
⑧ 19日 8:00~15:00
御参拝車進入禁止区域
⑨ 17日 14:00~21:30
⑩ 18日 5:15~22:00
⑪ 19日 5:15~15:00
※当日の交通状況により規制内容が変更される場合があります
ので、後者の警察署及び消防団の指示に従ってください。

⑫ 身障者専用駐車場 (社会福祉課)
8:00~16:00
身障者専用車庫、西側通り駐車庫、南1F室部分
※駐車禁止区域外庫庫、遺棄車両のみ駐車できます。
※車庫の貸し出しは、自動車事務所(社会福祉課)で実施。
身障者専用駐車場等で行って、高齢に限りありますので、あらかじめご了承ください。

⑬ 市内循環バス案内 (天理駅起点)
17~19日 8:35~10~25分間隔~16:00
○交通状況により変更がされる場合があります。
18~19日は高1駐車庫形の一部がバス乗り場となります。

⑭ 南1~18日はマイクロバス・乗用車専用駐車場として使用します。
大型バスは北大路専用駐車場をご利用下さい。
なお17~18日の夜間は閉鎖しますのであらかじめご了承ください。
○御前P・本堂G・天高G・天中Gは専用車専用駐車場となります。
○北大路専用駐車場の場合は、白川Pにて待機して頂きます。



◆ 詰所よりお願い ◆
本島詰所をご利用の際は、必ず事前に宿泊・食事の申込みをお願いします。特に期間中の食事について、いつもより申込み締切日が早くなっていますのでご注意ください(第8面の連絡事項をご確認ください)。大勢のお帰りをお待ちしております。

事情はいづ

立教183年2月、本島関係のお運びはありませんでした。

おさげの理拝戴

(立教183年1月分)

本恵山 金田一郎

【計1名】

修養科第944期修了

(立教183年2月27日修了)

雄福峰 入江美紗

【計1名】

教人資格講習会修了

(立教183年2月10日修了)

那波 村岡 要

銀峰 永吉幹生

【計2名】

おさげお取り次ぎ報告

(立教183年2月22日)

提出教会 24教会

報告数 1、411回

累計 2、649回

※前年同月累計比 69.9回減

教会長資格検定合格

(立教183年2月17日)

本伯 MASHIBA

ROBERTO SADAQO

【計1名】

をびや許し

(立教183年1月分)

▼本尼△上野千尋 ▼大隅聖

峰△市来瑞希 【計2名】

大教会長動向

▼3月(予定)▲

2月28日～3月12日、海外巡教

1日、マウイ教会巡教

7日、タミナル教会巡教

8日、パシフィックコースト教会巡教

13日、教会長おやさと研修会

14日、本中国分教会巡教

15日、本阿波分教会巡教

22日、大教会月次祭執行

23日、大教会春季霊祭執行

24日、修養科総立まなび

25日、かなめ会委員会

26日、本部月次祭参拝

27日、かなめ会

28日、春の学生おちばがえり

30日、本部神殿奉仕当番

青年会ひのきしん隊

青年会本島分会(片山秀明委員長)では、2月2日より23日まで、おやさとふしん青年会ひのきしん隊第875回隊に9名が、14日から16日までの三日隊に7名が入隊し、ひのきしんに伏せ込みました。

主なひのきしん内容は、

婦人会総会パレードで使用

するスタンド設営、旧本芝

詰所解体などを行いました。

三日隊が合流した15日は、

青年会長様と共にひのきし

んをさせていただきました。

また明和分会、中津分会、

本荘分会、やまとよふき分

会と同じ班を編成し、親交

を深めました。



青年会ひのきしん隊入隊者名簿

■本隊 ▼本田中△佐々木徳太郎 ▼御幸濱△後藤真也 ▼本恵

山△金田一郎 ▼本千代△吉田貴

慶 ▼攝津△鎌田康典 ▼安芸本

中△池田恒治 ▼本備前△伊東賢

太郎 ▼栄峰△内野尚之 ▼栄森

峰△西森俊彦 【計9名】

■三日隊 ▼本島△片山秀明

▼本米臺△内橋和博 ▼本花△奥

村由多加 ▼攝長△香川靖幸△神

前和博 ▼本備前△

伊東慎平 ▼本勇△

井上周平 【計7名】

統計 (1月2日～31日)

教会名	初席	中席	要席	修養科
御幸濱			1	1
本恵盛	1			
本本府		2		
本中島		1		
与倉		1		
實峰	2			
別峰		1		
新信			3	
鶴峰	1			
合計	4	10	1	2

にをいかけ名簿提出教会 (2月)

本島	0	本日米	2	南峰	10
本樺	13	本千代	2	南倉	18
本室	2	本攝	14	大雄	20
本谷	20	本泉	2	大雄	44
御幸濱	4	本浦	1	雄福	20
本桶川	4	本山海	1	雄山	12
本々木	9	本備前	4	雄星	3
本萬代	2	本府中	2	雄栄	17
本本都	64	本廣	2	雄靈	2
本本京	31	本宣道	2	雄吉	46
本本草	30	本新田	3	雄善	51
本本静	4	本赤	7	雄仙	21
計36教会				489名	

訃報

久尾もと子姉(故久尾重記マウイ教会3代会長の夫人)は去る1月19日お出直しになりました。享年97歳。

葬儀は、みたまうつしが2月4日午前10時より、告別式が2月20日午後5時より、マウイ市内の葬祭場にて斎藤カレン役員齋主のもと執り行われました。

アグス・スナリヨウ氏(久美スナリヨウ中西バリ島布教所長の夫)は去る1月14日お出直しになりました。享年65歳



縦の伝道講習会

【少年会本島団】

- 日時：3月22日(日)神殿講話として
- 講師：宇恵善継先生(少年会本部委員・共成分教会長)

鼓笛隊春季合宿

【本島団鼓笛隊】

- 期間：3月27日夕刻まで大教会集合、4月3日朝大教会出発
- 参加対象：令和2年度の小学1年生より高校3年生(幼稚園児不可) ※初めての隊員も参加できます
- 内容：鼓笛練習、おつとめ練習、教話、神殿掃除、レクリエーション、墓前演奏
- 備考：本隊(小学4年生以上)は集合写真・ビデオ撮影(本番同様)があります。本番用白靴(ブランドロゴの入っていない靴)をご持参ください。 ※高校生と指導員(大学生・専門学校生)は春の学生おちばがえりに参加し、別席を運びます
- 会場：本島大教会
- 参加御供：小中学生6千円、高校生7千円。別途お米1升または500円。フェリー代
- お問合せは鎌田典夫(06-6432-1727)まで

3月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：3月21日～23日
- 派遣教会：本浜②、赤峰②

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：3月24日20:00～26日13:00
- 派遣教会：渋谷②、那波①

〈詰所・鼓笛隊春季合宿ひのきしん〉

- 期間：3月27日～4月3日
- 派遣教会：渋谷①、本京①、本浜①、同朋①、本宮濱①、本亀①、崇徳①、本高①、赤峰②

婦人会創立110周年記念総会

【婦人会本島支部】

- 天理教婦人会第102回総会：4月19日(日)午前10時より本部中庭・南礼拝場前、東礼拝場前、西境内地
- 記念講演会：午後1時より全7会場
テーマ「陽気ぐらしへ向かう道」
- 教祖へ手作りお供え：4月17日午後3時より18日午前7時まで、詰所北棟2階会議室で受付
- 本島支部別席団参：4月18日午後席(午後2時30分より)、19日午後席(正午より)
- パワー結集!よろこびのパレード：4月18日夕づとめ後、別席場前から境内本所にかけて
- 本島支部憩いの場(懇親会)：4月18日午後7時より詰所食堂

〈諸注意〉

- 宿泊、食事申込み、行事参加は各々でお願いします。御供一委員部1千円と婦参報告をお願いします。本島支部のつとめ、婦人会衣料バザーはありません。お問合せは婦人会庶務(片山孝代・伊東晴美・岡崎むつゑ)まで。

少年会おつとめ総会役割

【少年会本島団】

- 少年会本島団おつとめ総会(8月19日～22日)の役割は右記の通りとなります。

教祖誕生祭前後の食事について

【本島詰所】

- 4月17日朝食から19日夕食までの3日間、詰所の食事数予約がこれまでと異なりますのでご注意ください。(婦人会記念総会と重なるための特別対応です)
 - 4月19日昼食
予約締切：4月9日午後9時まで
おにぎり弁当(2個) 220円
4月19日の別席食はありませんのでご注意ください。
 - 4月17日朝食から19日夕食まで(但し19日昼食除く)
予約締切：4月15日正午まで
- 〈ご注意とお願い〉
- 炊事本部より、期間中の増食は受け付けられないとのことです。詰所へ予約を必ずお願いします。
 - 予約申込み後の減食につきましても、予約数の食事お供えを申し受けますので、ご理解をお願いします。
 - 予約の重複を避けるために、予約は各教会単位でお願いします(個人での予約は受付いたしかねます)
 - 詰所予約担当：横関茂治・永山みずゝ (Tel 0743-63-1571、Fax 0743-63-0519)

- よろづよ八首から三下り目：北海道、関東、東海、中国、九州
- 四下り目から六下り目：本京、山陰、四国
- 七下り目から九下り目：赤峰
- 十下り目から十二下り目：本攝、阪神

春季霊祭のご案内

【本島大教会】

3月23日、大教会で執り行われる春季霊祭に、左記の霊様が年祭に当たつておられますので、ご連絡申し上げます。

■一年祭

平井ちか代 刀自(樺太)
吉田節子 刀自(本島)

■五年祭

大久保禮子 刀自(本伯)
篠原智恵子 刀自(本中国)

■十年祭

高間加与志 刀自(琴浦)
水口 恵主(本柳)
尾上博之 主(馬木尾)

■二十年祭

岡崎満子 刀自
輔野かず子 刀自(本島)
(ポートルド)

■四十年祭

辻本徳太郎 主(シートツク)
二見光雄 主(本浜)
須崎綾二 主(本幹)
岡崎義郎 主(本島)
杉本トシコ 刀自(本九)

■五十年祭

窪田新一 主(本新田)
【計18霊】

※なお、教会名は連絡先であり、実際の所属とは異なる場合があります。